

2022年2月10日

米州開発銀行が発行する「EYE ボンド」への投資について

大樹生命保険株式会社(代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」)は、この度、米州開発銀行(Inter-American Development Bank、以下「IDB」)が発行する豪ドル建 EYE ボンド(以下「本債券」)への投資を実施しました。

IDB グループは、中南米・カリブ海加盟諸国における貧困と不平等の削減、そして地域の持続可能な成長の実現を目指しています。また、IDB グループはこの目標実現のために6つの戦略的優先分野を定めており、本債券への投資はその中の「社会的インクルージョンと平等」、そして「生産性とイノベーション」に関連する取組みを支援するものです。

本債券の「EYE」は、教育(Education)、若年層(Youth)、雇用(Employment)を指しており、調達した資金は、IDB が行う EYE プロジェクトに充当されます。EYE プロジェクトは、上記で示した戦略の中でも特に教育・若年層支援・雇用支援の分野に注力しているのが特徴です。IDB は、幼年期の保育から小・中・高等学校教育、職業訓練、そして就労に至るまでライフサイクルアプローチを採り、一貫して青少年の社会参加を支援することで、中南米・カリブ海加盟諸国の人的資本(※)の形成と生産性向上に貢献しています。

当社では、これまでも環境債(グリーンボンド)や社会貢献債(ソーシャルボンド)、ESG 投信などへの投資を行ってきました。今後も引き続き生命保険会社としての社会的責務をふまえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、経済・企業の安定的な成長と社会的価値の調和的な発展を目指します。

<本債券の概要>

発行体	米州開発銀行
格付	AAA(S&P) / Aaa(Moody's)
発行総額	50 百万豪ドル
償還期間	1.5 年

(※)人的資本とは、ある国で生まれた子供が、将来社会の一員としてどれくらい生産性に貢献できるかを問う概念。乳幼児死亡率、学習年数、子どもの発育障害有症率・成人生存率等が重要な構成要素とされる。

【IDB が取り組むプロジェクト事例】

バルバドス: 将来に向けたスキル習得プログラム



©IDB

このプログラムは、中等教育における質の確保、および企業と訓練機関による緊密なパートナーシップを通じて、職業訓練と教育の有効性が向上するよう政府の人材育成戦略を支援することを目的としています。このパートナーシップにより、職業訓練が雇用主のニーズに合致する形で行われることや、研修生が必要とされるスキルを確実に取得でき、企業からも認定されることが担保できます。

ボリビア: Growing Well to Live Well プログラム



©IDB

ボリビア保健省を通じて実施される本プログラムは、4歳未満の子供に対する幼児発達プログラムへのアクセス機会の拡大と質の向上を図り、子供の認知的、社会的、感情的、および身体的発達を改善することを目的としています。このプログラムでは、家庭訪問の実施と子供ケアセンターの増強を通じて、チャイルドケアを強化します。また、子供の身体的、認知的、また社会情緒的な遅れを評価し、治療するための実践センターを設立します。

* 上記プロジェクトは、事例のご紹介のみを目的としており、今回のEYEボンドの資金の活用を上記プロジェクト又はその分野に限定するものではありません。

【本件と関連性の深い SDGs テーマ】



以上